

「日本思想史特論」研究報告記録

期間 二〇〇六年四月～七月 第一(夏)学期・月曜二限
演目 「大名評判記」の思想史的研究
研究方法 当初の参加者は一七名。四班にわかれ、班長を選出し、班ごとの研究テーマを決定。二週間の研究程度を報告し、全体討論。報告回数は、各班二回、全八回。その後、各人が報告レジュメをもとに、履修レポートを提出。本報告書に掲載する際、必要に応じて加筆訂正、あるいは、新原稿を書き下ろすなどした。

活動・報告日程

①二〇〇六年四月一〇日・ガイダンス。これまでの共同研究成果『土芥寇讎記』の基礎的研究』『大名評判記』の基礎的研究』と、今年度の方針についての簡単な説明。

②四月一七日 班分け・各班の報告日決定。

③四月二四日 班別作業。各班の第一回報告テーマ設定・報告 分担の決定など。

④五月八日・第一班報告 I

小田真裕 【総論】『武家諫忍記』の成立について」
綱川歩美 【各論】『武家諫忍記』諸本の分類をめぐる試論」

黒須あずみ 【各論】『武家諫忍記』諸本の比較—データ部分を中心に— 小田真裕 【各論】『武家諫忍記』評における縁戚大名の記載」

⑤五月一五日・第二班報告 I

矢森小映子 【総論】『武家諫忍記』序・国法・教法の

諸本比較—「大名家評判記」の形成過程と読まれ方を探る—」

小川和也 【各論】『武家諫忍記』序の諸本比較」

坂口真理 【各論】『武家諫忍記』諸本の比較—国法・教法を中心に—

矢森小映子 【各論】『武家諫忍記』教法之巻比較—仙台藩と大聖寺藩の所蔵のあり方—

⑥五月二二日・第三班報告 I

野本禎司 【総論】「大名家の記述内容比較からみる『武家評判記』諸本の関係性」

大橋佑季子 【各論】「池田家からみた『大名評判記』」
湯川真人 【各論】『武家諫忍記』の比較」

同 【各論】『大名評判記』における庄内三藩(庄内藩・松山藩・大山藩)」

杉 岳志 【各論】「堀田家からみる大名評判記」

⑦五月二九日・第四班報告 I

望月良親 【総論】『武家諫忍記』の諸本の比較」

望月良親 【各論】『堪忍記』と『武家諫忍記』の比較」

室田悠子 【各論】「東北大学附属図書館本」の書込み・訂正の検討」

和田雄介 【各論】『武家諫忍記』諸本の比較から」
鈴木 愛 【各論】『武家諫忍記』諸本の検討—「愚評の項」の比較—

小関悠一郎 【各論】『武家諫忍記』諸本の比較検討—四班作成表をもとに—

⑧六月五日

班別作業。各班の第二回報告テーマ設定・報告分担の決定など。

⑨六月一二日・第一班報告 II

小田真裕 【総論】『大名評判記』と『武家諫忍記』」
島田佳香 【各論】「表題」からみる『堪忍記』と『武家諫忍記』」

小田真裕 【各論】『武家諫忍記』諸本の新規「愚評」
黒須あずみ・綱川歩美 【各論】『武家諫忍記』諸本をめぐる試論②」

黒須あずみ 【各論】『武家諫忍記』成立時期に関する若干の考察—大聖寺本データ部分から—

⑩六月一九日・第二班報告 II

矢森小映子 【総論】「序」「国法」「教法」から探る『武家諫忍記』の作者像—大聖寺本を中心に—

小川和也 【各論】『武家諫忍記』聖藩本とその周辺を探る—富山藩の評価と『徒然草』

坂口真理 【各論】『武家諫忍記』国法の検討—石高と土地評価を中心に—

矢森小映子 【各論】『武家諫忍記』の形成過程と読まれ方を探る—二つの視角—「大名評判記」の形成過程と読まれ方を探る②」

⑪七月三日・第三班報告 II

野本禎司 【総論】「対馬歴史観所蔵『武家諫忍記』の成立事情を探る」

大橋佑季子 【各論】「対馬本と諸本(池田家本・養堂本・大聖寺本)との内容比較(巻一、巻二)」

杉 岳志 【各論】「松平定重からみる大名評判記」

⑫七月一〇日・第四班報告 II

望月良親 【総論】『大名評判記』の成立を探る—『堪忍記』・『武家諫忍記』・『武家勸懲記』から—

望月良親 【各論】『堪忍記』と『武家諫忍記』の比較」

室田悠子 【各論】「東北大学附属図書館本」の書込み・訂正の検討」

和田雄介 【各論】「酒井家(庄内藩・松山藩・大山藩)からみる大名評判記」

鈴木 愛 【各論】『武家諫忍記』諸本の検討—「愚評の項」の比較—「前後ノ評」

小関悠一郎 【各論】『大名評判記』諸本における引用について」